

秋の叙勲

3日付で秋の叙勲が発表され、市内からもさまざまな分野で功績があった人たちが選ばれた。受章者のうち、3人の喜びの声を紹介する。



旭日双光章

東海メディカルプロダクツ社長

発明考案功労

筒井宣政さん(70)

娘への思い 研究重ね

心筋梗塞の応急処置用バルーンカテーテルの国産に一九八九年、初めて成功した。九六年に海メディカルプロダクツ(春高機能との評価に輝き、国産で当初は人工心臓の開発を目指ね」と喜んでいただけという。

はトップシェアを誇る。もともとはビニール加工会社を経営していたが、生まれつき心臓に疾患があった次女の故佳美さんを助けたい一心で、医療た。

(東区徳川町)

していたが、多大な資金が必要

佳美さんは九一年、二十三歳で亡くなった。「娘のことがきつかけで始めた仕事。この仕事を始めたことを喜んでくれていた。受章は娘にとつての何よりの供養になる」。遺影を見つめ、妻の陽子さんと喜んだ。